

MY LIFE'S Good Season

人生で最も楽しい時
~Good Season gourmet~

料理をおいしく食べてもらうには、味だけでなく見た目も大事。そこで、いつもの料理をいっそう美味しく見せて、出された相手も驚き喜ぶうつつの楽しみ方をご紹介します。50代からが、人生の“グッドシーズン”。さあ輝く毎日を始めましょう。

温もりあるうつつで普段の料理を いっそう美味しく、楽しくうつつや猿

芦屋の細い坂道の途中に小さなうつつやがある。女性店主と看板犬のウズメちゃんが迎えてくれる店内には目移りするほどたくさんの陶器や磁器のうつつやが並ぶ。「同じ料理でも、盛りつけるうつつやが違えば全く違うものに見える」と話すのは、うつつや猿の店主・由芽（ゆめ）さんのお父さまである藤原さん。三代にわたって和食器屋を営んで

おり、陶芸家が精魂込めて作ったうつつやを販売している。「食器は、揃える必要はないんです。どんな料理を盛りつけようかと想像しながら、好みのものを少しずつ買うというので、いろいろなうつつやが並ぶと食卓もにぎやかになります」と藤原さん。独特の表情や遊び心があるので、料理人のセンス次第でどんな使い方もできるのが和食器のいいところだ。「そ

ば猪口にデザートを盛ったり、とっくりを二輪挿しにしたり、固定観念に縛られず自由なアイデアで楽しんでいただければ」と由芽さん。少しうつつやにこだわれば、日々のご飯づくりも楽しい時間になりそうです。また年月を経ることで欠けたりひび割れたりすることもありますが、そんな時は同店の漆と



取材協力
窯元作家の手作り和食器販売
うつつや猿 (ばく)
芦屋市東山町29-22
営/11時~18時
日祝定休
☎0797-62-7238
http://utsuwaya-baku.com/



猿のうつつはすべて手づくりのものばかり。柄も手描きで一つひとつが違う表情をもつ。



窯元から直接仕入れた表情豊かな和食器が並ぶ



うつつやを愛する父娘が紡ぐ和食器の魅力にふれてみて。「悪い夢を食べてくれる猿」にちなんでつけられた店名。



純金で補修する『金継ぎ』を試してみたい。「大切に使い続けていくことで味わい深くなります」と藤原さん。猿で暮らしたに彩りを添えてくれる素敵なお友だちと出会ってみては。

多彩な鍋をコースで堪能

気の合う仲間と個室でわいわいするのなら、阪神西宮駅徒歩すぐの「はたごや」がおススメ！旬の鍋コースは早割キャンペーン実施中。14日までの予約で代金の50%分のお食事券をプレゼント(諸条件あり)だから忘年会・新年会などが



お鍋のコースは7種3,000円台〜。定番の味噌ちゃんこ、奥丹波の鶏すき、霧島高原ブランド豚の豚しゃぶ、黒毛和牛のしゃぶしゃぶなど。詳しくは問合せを。

- 「特別単品料理 胡蝶」(ランチ) …1,680円 ※限定20食
 - はたごや風味ちゃんこ鍋コース …4,082円
 - 「霧島高原ブランド豚使用」豚しゃぶ …3,650円
 - 黒毛和牛のしゃぶしゃぶ …5,400円
- (ディナータイムは別途お通し代378円・サービス料5%・鍋コースは2名以上、要予約)
- 特典 「シティライフ見た」で鍋コースを早得(14日前まで)ご予約の方
お食事代の50%分お食事券(上限1万円・利用は次回以降)をプレゼント
(2016年1月31日の宴会まで有効)

ココがスバラシイ
プライベート感のある個室が人気
2~35名までの個室があり、女子会や忘年会、新年会、各種お祝いまで用途に合わせて利用できる。

はたごや 阪神西宮駅前
西宮市田中町1-6
エビス西宮専門店街1F
営/ランチ11時~15時
(L.O.14時)
ディナー17時~23時半
(L.O.22時半、ドリンクL.O.23時)
☎0798-38-6411



集いには格別な空間と料理を

大切な人とゆったりくつろげる「家族れすとらんおとわ」。一枚板のカウンターや9つの個室、テーブル席が設けられ、食事会はもちろん記念日や法事と多様なシーンで利用多数。海鮮料理に定評があり、とくに



※料理の内容は仕入れ状況によって変更あり。
特典 「シティライフを見た」で
会席コース「きずな」4,500円を3,980円に!
会席コース「きずな」飲み放題付 6,000円を4,980円に!
(2月未まで、他サービス併用不可)

家族れすとらん
おとわ
芦屋市楠町11-19
営/11時~22時半
(L.O.21時半) 無休
☎0797-22-3800
http://www.otw.co.jp/
kazoku-restaurant/



ココがスバラシイ
庭園付きや宴会場
タイプ多彩な個室で人気
お庭付きの個室は子連れの家族に好評。慶事など親戚が会するなら和風旅館のような雰囲気のある2階宴会場が最適。



まちの気になるネタ、根掘り葉掘り調査します。

身近で、ちょっとした気になる情報や疑問ってありますよね。このコーナーでは編集部がそれらの疑問を解決すべく調査するコーナーです。今回は、神戸市東灘区にある弓弦羽神社を調べてきました。

調査日 12月10日(木)
調査員 編集部もとき

募集

身近な気になる情報をお寄せください!

採用された方には
素敵なプレゼントを進呈

■応募方法■
氏名・住所・電話番号・調査依頼内容をご記入いただき、ハガキ、FAX、メールのいずれかで応募ください。採用情報はお電話にて連絡させていただきます。

宛先: 〒566-0001
大阪府摂津市千里丘
1-13-23 シティライフ
気になる情報係

FAX: 06-6368-3505
mail: kininaru@citylife-new.com

取材協力&アクセス

取材協力:弓弦羽神社
所在地:阪急電鉄御影駅から徒歩3分

話題の弓弦羽神社の魅力に迫る

気になるネタ

住まいから近いこともあり新年の初詣、七五三、家族の節目には我が家は神戸市東灘区にある弓弦羽神社を訪れます。その神社が何やらいま全国的に話題になっているとのこと。真相を確かめるべく弓弦羽神社に行ってきました。澤田政泰宮司によると、「弓弦羽神社の歴史は1200年前の嘉祥2年、熊野大神を祀ったことが始まりです。昔この地は弓弦羽ノ森と呼ばれ、大神が村の鎮守とされ地域の信仰が深まったようです」。弓弦羽神社には、熊野大神のお使いとして知られる八咫鳥(やたがらす)が神社の至るところに鎮座し、まるでこの地を守っているかのよう。日本サッカー協会のシンボルとしても有名な八咫鳥だが、弓弦羽大神も導いているのか、神社には女子サッカーチームINAC神戸レオネッサの選手を始めスポーツ選手らが必勝祈願に訪れるそう。また自身の名前と似ていることから、フィギュアスケートの羽生結弦選手が参拝したことから、多くのファンも訪れているそうです。「信仰の心を持って神を敬えば、その神の力がより強くなり、その力で私たちを守ってくれます。神社も時代の変化によって変わっていきますが本質を見失わぬよう地域を見守っていききたい」と澤田宮司。取材を終え、改めて神聖な気持ちになり、弓弦羽大神に深く一礼して帰路につきました。



社殿の後ろに見える大樹クスノキは樹齢400年以上だそう。この地を守っているかのよう。



手水舎にも八咫鳥が。舎の傍らには愛犬用の水飲み場もある。



御影石のサッカーボール。御影石でも有名なこの地は、大正時代、御影の師範学校で日本初のサッカーチームが生まれた地。その縁もありつくったそう。